

## 京丹後市内公立学校施設の耐震化優先度調査及び耐震二次診断結果の公表について

京丹後市では、学校施設が児童生徒の学習・生活の場として、豊かな人間性を育むための教育環境として重要な意義を持つものであり、また、災害時には地域の方々の応急避難場所としての役割をもつものであることを踏まえ、『京丹後市公立学校施設整備計画』を策定し、昭和56年以前の旧耐震基準による設計で建築された、小中学校及び幼稚園施設の耐震化優先度調査及び耐震二次診断を実施してきました。

今回は、平成20年度中に耐震二次診断を実施した『京丹後市立大宮第二小学校』および『京丹後市立橋小学校』の診断結果も含め、改めて公表することとします。

### ★耐震化優先度調査の結果（詳細は別表1）

優先度ランク	棟数	校(園)数	摘 要
①	6	4	判定の結果は、優先度ランク①～⑤までの5段階評価です。早急に耐震二次診断を行った方がよい建物は、優先度ランクが①と判定されています。
②	2	1	
③	3	3	
④	2 2	1 1	
⑤	3 5	1 9	
計	6 8 棟		

※ 耐震化優先度調査につきましては、耐震診断を検討する際の事前調査といった性格のものであり、この結果のみから校舎全体の耐震性能が低いと判断することはできません。

また、市内学校施設の耐震化につきましては、耐震化優先度調査の結果に加え、各施設の立地している地域の防災上の危険性や、更には学校再配置の問題等を加味したうえで早期に判断し、『京丹後市公立学校施設整備計画』の改定を行った上で、計画的に実施することとします。

## ○耐震化優先度調査結果一覧表

## 鉄筋コンクリート造

優先度ランク Rp	学校名/棟名	備考
①	島津小学校 管理・普通教室棟	
	野間小学校 教室棟	
	湊小学校 教室棟	
	間人中学校 特別教室棟	
	間人中学校 管理・普通教室棟	
	6棟 間人中学校 体育館	
②	網野幼稚園 保育室棟1	
	2棟 網野幼稚園 保育室棟2	
③	吉原小学校 教室棟(西)	
	田村小学校 教室棟	
	3棟 峰山中学校 教室棟及び給食棟	
④	吉原小学校 教室棟(東)	
	丹波小学校 教室棟及び給食棟	
	丹波小学校 体育館	
	長岡小学校 教室棟	
	大宮第二小学校 体育館	
	島津小学校 体育館	
	橘小学校 管理・特別教室棟	
	橘小学校 特殊学級教室棟	
	橘小学校 普通教室棟1	
	橘小学校 普通教室棟2	
	橘小学校 管理棟	
	橘小学校 体育館	
	豊栄小学校 管理・普通教室・特別教室棟	
	吉野小学校 体育館	
	溝谷小学校 普通教室棟(東)	
	溝谷小学校 体育館	
	鳥取小学校 教室棟(中)	
	峰山中学校 管理棟	
	19棟 峰山中学校 体育館	
⑤	吉原小学校 体育館	
	吉原小学校 給食棟	
	丹波小学校 教室棟	
	長岡小学校 管理棟	
	大宮第二小学校 管理・普通教室棟(東)	

⑤	大宮第二小学校 管理・普通教室棟(西)	
	大宮第二小学校 特別教室棟	
	大宮第三小学校 普通・特別教室棟(東)	
	大宮第三小学校 普通・特別教室棟(西)	
	大宮第三小学校 体育館	
	大宮第三小学校 給食棟	
	橘小学校 普通・特別教室棟	
	豊栄小学校 体育館	
	間人小学校 特別教室棟	
	竹野小学校 管理・特別教室棟	
	竹野小学校 普通教室・給食室棟	
	竹野小学校 体育館	
	吉野小学校 普通教室棟	
	吉野小学校 給食室棟	
	溝谷小学校 普通教室棟(西)	
	溝谷小学校 給食室棟	
	鳥取小学校 教室棟(北)	
	鳥取小学校 教室棟(南)	
	鳥取小学校 給食室棟	
	鳥取小学校 体育館	
	黒部小学校 教室棟	
	黒部小学校 体育館	
	黒部小学校 給食棟	
	野間小学校 体育館	
	田村小学校 管理棟	
	田村小学校 体育館	
	神野小学校 体育館	
	湊小学校 体育館	
	峰山中学校 特別教室棟	
	35棟 高龍中学校 管理棟	

※ 優先度ランク①～③までについては、同ランク内であってもコンクリート強度等によりランク付けしています。

鉄骨造

優先度ランク Sp	学校名/棟名	備考
④	峰山幼稚園 保育室棟1	
	峰山幼稚園 保育室棟2	
	3棟 峰山幼稚園 遊戯室棟	

## ○耐震診断(2次診断)結果一覧表

学校名	棟名	実施年度	Is値	Ct × Sd値	耐震補強工事 実施年度	備考
大宮第一小学校	普通教室棟	H13	0.58	0.61	H14~H15	
	管理棟 特別教室棟		0.55	0.58		
	体育館		0.09	0.05		
宇川小学校	管理・普通教室棟①	H14	0.49	0.14	H16	
	管理・普通教室棟②		0.42	0.15		
	体育館		0.39	0.25		
峰山小学校	普通教室棟	H17	0.23	0.13	—	
	特別教室棟①		0.40	0.33		
	特別教室棟②		0.56	0.32		
	体育館		0.14	0.09		
佐濃小学校	管理棟	H18	0.23	0.25	—	
	教室棟		0.12	0.17		
峰山中学校	管理棟	H19	0.61	0.65	—	
	普通教室棟		0.41	0.22		
	特別教室棟		0.86	0.91		
	渡り廊下棟		1.02	0.47		
	体育館		0.19	0.20		
高龍中学校	管理棟	H19	0.65	0.86	—	
大宮第二小学校	管理棟	H20	0.53	0.59	—	
	普通教室棟		0.54	0.61		
	給食棟		0.85	0.70		
	体育館		0.30	0.18		
橘小学校	特別教室棟	H20	0.57	0.36	—	
	管理棟①		0.61	0.44		
	管理棟②		1.29	1.36		
	普通教室棟		0.48	0.40		
	体育館①		0.18	0.10		
	体育館②		0.88	0.93		

## ○用語の解説

### 「Is値」

構造耐震指標と呼ばれ、建築物の耐震性能(地震に対する安全性)を数値化したものです。

Is値に対応する耐震性能については、下記のように判断します。値が大きいほど耐震性能が高いことを表します。

Isの値	耐震性能
0.3 未満	大地震時に倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
0.3 以上 0.7 未満	大地震時に倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
0.7 以上	大地震時に倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。 現在の基準同等の耐震性能があると考えられています。

### 「Ct × Sd値」

建物にある程度の強度を確保することを目的とした、建物の累積強度(Ct)や形状(Sd)の指標に関する判定基準です。

Is値が基準を満たしていても、この値が低い場合は安全としない目安となります。具体的には、Is値が0.7以上で基準を満たしている場合でも、Ct × Sd値が0.3以下の場合、その建物は安全とは判断されません。